

**立山博物館文化観光推進事業多言語化業務に係る公募型プロポーザル
質問への回答**

	質問	回答
1	現地取材は不要との認識で相違ないでしょうか。	ネイティブの作成者が、現地取材を行わずに本業務を適切に遂行できるようでしたら、必須ではありません。
2	最終的な納期は令和8年2月28日とのことですが、リソースのスケジュールの把握のため、貴県内の確認にどれくらいの日数が必要でしょうか。また、貴県のご確認は何回程度を想定していらっしゃいますか。	現時点で、明確に回答するのは難しいです。その上で、文量にもよりますが、全量を一度で確認すると想定した場合、最低3週間程度を要すると想定され、回数は最低2回程度と思われます。ただし、内容や難易度によって、期間や回数は左右される可能性があり、例えば、パネル1枚でも内容によっては、これを超えるものが生じる可能性も考えられます。なお、回を重ねるにしたがって、期間は短縮されると思われます。
3	今年度の多言語化業務は、どのような展示についての英語解説文となりますか。分野など差し支えない範囲でご教えてください。（例：自然や地質に関する展示など）	今年度の展示館3階（第一展示室）改修に関し、天文学を除く自然科学の全分野を中心とし、わずかですが、立山信仰にかかわる内容を含みます。
4	英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語の指導・助言とありますが、どの程度のボリュームを想定されていますか。	案内表示5～10程度を想定しております。内容としては、今年度の3階改修に伴う注意喚起・順路表示などを想定しております。
5	仕様書p1の4. 業務内容（1）立山博物館英語展示解説文作成において、今回の多言語化対象となるような、特定の展示品および展示室などをプロポーザル時に事前にご提示いただくことは可能でしょうか。	多言語化の対象は、今年度実施予定の展示館3階（第一展示室）です。展示館3階の展示対象等については、立山博物館HP等をご参照ください。
6	仕様書p1の4. 業務内容において、解説文作成や多言語化への指導・助言の参考として、日本語や多言語化の資料（カタログやテキスト等）をご提供いただける予定はございますか。	業務遂行に必要な資料につき、可能な範囲で提供可能です。